

人工授精によるアカアマダイの種苗生産

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 本藤, 靖, 村上, 直人, 渡辺, 税, 竹内, 宏行, 藤波, 祐一郎, 津崎, 龍雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014511

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



人工授精によるアカアマダイの種苗生産

本藤 靖・村上直人・渡辺 税・竹内宏行・藤浪祐一郎・津崎龍雄

1997～1999年に人工授精で得られた卵を使用して、飼育試験を合計8回行った。その結果、1999年では2.3～17.4%の生残を得、平均全長18.7 mmの種苗13.9万尾を取り揚げ、生残率は平均9.5%を得ることができた。これには、大量の雌成魚を確保したこと、人工授精で人工精漿を用いた精子の抽出方法に改善し、受精率を向上させ大量の受精卵を確保したことが考えられる。さらに、種苗生産では初期餌料であるワムシの栄養強化方法を改善して安定した供給を可能としたこと、飼育水温及び水面照度などの飼育環境等を整備したこと等が考えられた。

栽培技研, 28(2), 73-79, 2001